

<令和7年度茨城県ふるさと魅力発見隊事業>



小野川を通じて「食」を学ぼう！

茨城県南部に位置する稲敷市は、霞ヶ浦や利根川、新利根川、小野川など豊かな水辺環境のもと、古来より稲作が盛んに行われてきました。その水辺環境のひとつである小野川は、江戸時代にお米や薪、農作物を霞ヶ浦・利根川を経由して江戸まで舟で運ぶために利用されてきました。

小野川を通じてお米の大切さを、また稲敷市と東京の関係を学んでください！

また、伝統行事「ならせ餅」や「餅つき」を体験して、もち米がお餅に変わっていく様子を見て「食」への関心を深めてください！

日時

令和8年2月14日(土)
10:00~13:00(受付9:30~)

※雨天決行です(荒天の場合、2月22日(日)に延期になります)

会場・集合場所

きのこ
古民家かふえ 木鋸
茨城県稲敷市伊佐津 312



お申込み



←こちらから

※受付開始日
令和8年1月16日(金)

「ならせ餅」とは、茨城県や北関東の一部で行われる小正月の伝統行事。紅白の丸餅を木の枝に「ならせる(実のように飾る)」ことで、1年間の健康(無病息災)と豊作(五穀豊穡)を祈願するものです。

※傷害保険は主催者で加入いたします。



稲敷市内外の小学生と保護者
先着40名募集!

参加費
無料

主催 ● 茨城県/稲敷市/イナ・ラボ合同会社
問い合わせ先 ● イナ・ラボ合同会社 村岡 (090-4125-4978 s.muraoka@ina-labo.com)